

地方創生の切り札 世界的な蒸留所ツーリズム

未来
松山篤夫



問 廃校となった高根小学校を利用して、清冽な水、湿潤な気候と美しい空気的环境下でクラフトウイスキーが製造されている。世界的にこのような蒸留所ツーリズムが人気となっている。高根地域の自然景観や温泉などの地域資源を利用した飛騨高山蒸留所ツーリズムといったプロモーションは持続可能な地域づくりに大きく寄与すると考えるが、市の見解は。

答 近年、国内外でも注目されており、「体験できる観光」として価値が高いものであると認識している。高根地域の魅力発信に努め、持続可能な地域づくりにつながる観光振興に取り組んでいく。



飛騨高山蒸留所

丹生川町の国道158号の 崩落箇所への対応と影響

未来
車戸明良



問 令和8年2月25日に塩屋地内で発生した大規模な土砂崩落による通行止めの復旧の見通しと観光等への影響は。

答 当初、梅雨入り前の片側通行を目指していたが、再び崩落があり、現時点で復旧見通しはたっていない。対岸の市道を迂回路としているが、普通車と路線バスのみで、丹生川地内や奥飛騨温泉郷地内の観光施設などでは、団体旅行の予約キャンセルなどの影響が出ている。さらに、復旧の見通しが立たない場合は、首都圏や関西圏、中京圏からのツアーが催行されない可能性があり、地元経済へ大きな影響が及ぶ。

問 復旧が夏、秋、冬と長期に及ぶことが懸念されるが、通行止めが続く場合の対策は。

答 高山土木事務所長に早期片側交互通行を要望するとともに、迂回路の市道沿線住民にも配慮し、市道の改良や交通誘導員の配置・退避場所の設置など具体的な方策を検討し、観光バスについても通行できるよう県と連携しながら早急に取り組む。

荘川町六廐の産業廃棄物 最終処分場計画について

新政たかやま
平戸芳文



問 国や県の制度に基づき進む計画に対し、市としてどのような戦略と道筋を持って計画中止を目指しているのか。

答 荘川町六廐の産業廃棄物最終処分場計画は、関係法令・条例に基づき手続きが進められており、現在は事業者による環境影響評価が行われている。市は、今後提出する県への意見書について、弁護士や学識経験者の知見、市独自の検証や環境影響調査結果を踏まえ、法的・科学的根拠に基づく懸念事項を整理して取りまとめる。また、事業者の動向や県条例の手続き段階に応じて、専門家の助言を受けながら適時適切な対応を行う。

地域クラブによる遠征時の 移送支援や安全確保について

新政たかやま
西田 稔



問 5月に磐越自動車道で発生した部活遠征バスの事故は当市でも他人事ではない。バス代等の高騰により保護者の負担は増えているが、市として遠征費補助や支援制度拡充の考えは。

答 市では今年度から「高山市地域クラブ活動補助金」により1人当たり3千円を補助することとし各地域クラブで大会遠征費等、地域クラブの運用に活用いただいている。なお中体連大会の参加登録費も市が補助している他、県大会以上の大会への移動等への支援として「中学校等各種大会派遣補助金」制度を設け交通費等の1/2を助成し保護者の負担軽減を図っている。

